

「葬送ジャーナリスト」碑文谷創さん講演会

変わり続ける お墓と葬送のいま

家単位のお墓が急速に普及したのは明治末期以降。それから100年余りの時を経た現代では、家族形態の変化・高齢社会の進行に伴って、お墓は多様化し、葬送のかたちに大きな変化が生じています。どのような変化なのか、専門のジャーナリストが分かりやすく解説します。




日時：5月19日（日）午後1時～（12時30分開場）

会場：南山ホール(公営 稲城・府中メモリアルパーク内)
(無料・事前申し込み不要)

講師：碑文谷 ^{ひもんや}創 ^{はじめ} (葬送ジャーナリスト)

講師略歴
1946年生まれ。東北出身（岩手・一関・宮城・仙台）。東京神学大学大学院修士課程中退。出版社に勤務し、44歳で独立、葬送文化専門雑誌『SOGI』編集長を四半世務める。経産省「ライフエンディング・ステージ」研究会委員、葬祭ディレクター技能審査企画委員、IFSA 顧問等を歴任。本邦初で唯一の「死と葬送」に関する総合歴史年表（「人の死・葬送を歴史のコンテキストで読む」）をまとめるなど葬送分野の歴史・記録の編著が多い。現在、死、葬送、宗教に関する評論・講演活動を展開。著書は『「お葬式」はなぜするの?』、『死に方を忘れた日本人』『葬儀概論』（現在4訂）ほか多数



〇問い合わせ先 ☎042-379-9731

稲城・府中墓苑組合
(公営 稲城・府中メモリアルパーク)

<最寄り駅>
○京王線稲城駅から徒歩約20分・タクシーで約5分
○JR 稲城長沼駅からタクシーで約10分
※駐車場 166台あり（1時間以内無料）

